

経営比較分析表（令和元年度決算）

佐賀県佐賀市 佐賀市立富士大和温泉病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 1	指定病院の状況 2
直営	9	-	ド透訓	救輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
232,476	8,392	第2種該当	10:1	

1 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療

2 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
54	44	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	98
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
52	29	81

グラフ凡例

当該病院値(当該値)

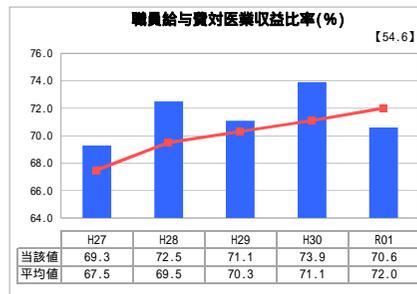
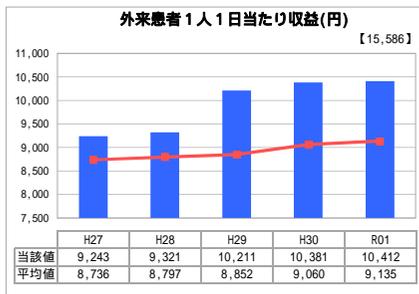
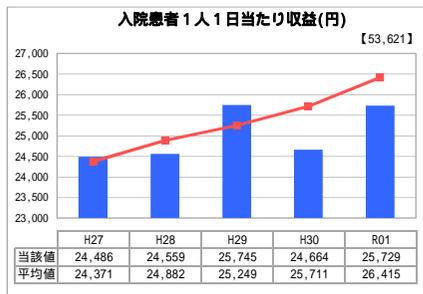
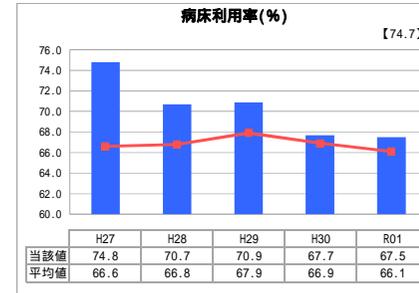
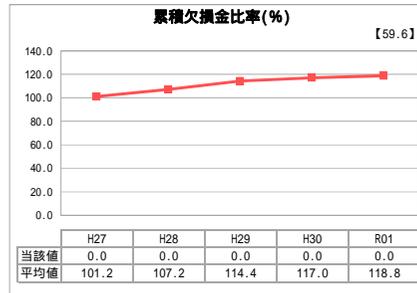
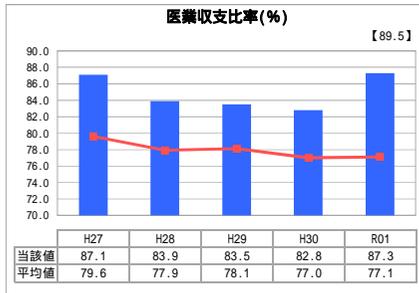
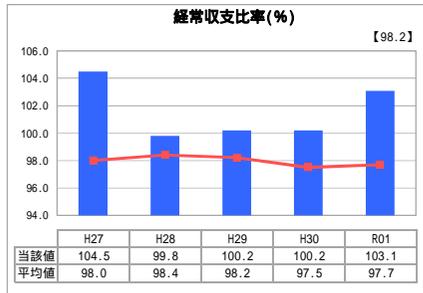
類似病院平均値(平均値)

【】 令和元年度全国平均

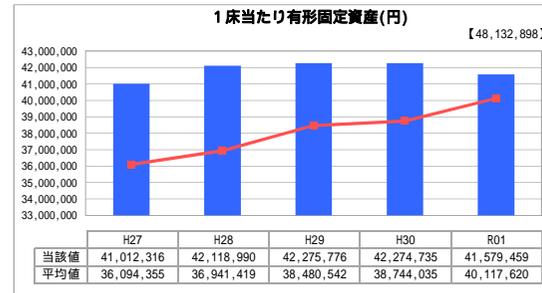
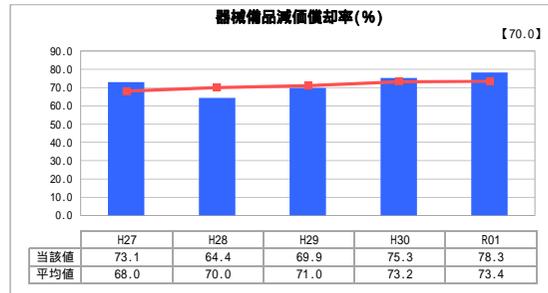
公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



地域において担っている役割

不採算地区である過疎地において医療を提供するとともに、救急告示病院及び病院群輪番制病院としての近隣地域における休日・夜間等の救急医療の機能維持を担っている。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は直近5年において、平成28年度のみ100%以下となっており、それ以外の年度においては100%を超えており、常に類似病院平均以上を維持している。しかし、病床利用率は低下傾向にあるため、紹介入院患者や救急搬送患者を積極的に受け入れ増加に努めたい。また、入院患者1人1日当たり収益を平均値に近づけるため、「急性期看護補助体制加算」や「夜間急性期看護補助体制加算」の施設基準を取得し、単価アップに努めたい。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は建物附属設備の減価償却進捗等に伴い類似病院平均より高い状態になっている。毎年実施している診療用等機械器具の更新状況調査により、更新が必要となる時期等を把握し、計画的な更新に努めたい。

全体総括

経営の健全性を確保するための対策として、病床利用率が低下している医療療養病床については、「佐賀市立富士大和温泉病院改革プラン(平成30年～令和2年度)」において機能変更を検討することとしていたが、新型コロナウイルス等の影響により次期改革プランの策定作業に着手できていないため、現行の改革プランを1年間延長し、引き続き取り組みを継続したい。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。